

平成30年女性局活動方針

先の衆議院議員総選挙は、党組織が一致結束して臨んだ結果、全選挙区で勝利を収めることができた。

女性局は、本年を国民・県民の皆様から頂いた期待に応えるための「実行の一年」と位置づけ、安倍新総裁のもと、様々な重要政策に果敢に取り組む。また、更なる党勢拡大と女性組織の強化に努め、選挙必勝に向けた体制を構築するため、女性党员一人ひとりが、自覚を持って活動していくことを誓う。

1. 選挙必勝に向けた組織づくり

第48回衆議院議員総選挙は、区割り改定による新しい選挙区での選挙であったにも関わらず、全市町村で勝利することができたのは、支部組織・党员が候補者と一体となり活動することができたからに他ならない。

これらわが党最大の強みである組織力を、いついかなる選挙であっても、いかに発揮できる体制をつくることこそ、女性局の使命であると自覚し、統一地方選挙、知事選挙、参議院議員選挙必勝に向けた組織の整備・拡大に努める。

具体的には、女性党员が参加できる「いどばたキャラバン」等、集会・研修の機会を設けるとともに、女性党员獲得運動「絆プラスワンキャンペーン」を継続し、党员獲得運動に積極的に寄与する。また、空白となっている地域・職域支部女性局長の選任を目指す。

2. 積極的な街頭・広報活動の展開

わが党の政策を広く浸透させ、支持を得るためには、県民の目に見える形で活動を発信する必要がある。

若年層・無党派層への働きかけが一層重要となっている現状を踏まえ、より積極的な街頭・広報活動を実施するほか、「りぶる」「自由民主」「政策パンフレット」等の広報物を活用したPR活動を展開する。

3. 児童虐待防止を目指す「ハッピーオレンジ運動」など政策活動の推進

女性局はこれまで、少子化対策、教育再生などを取り上げ、政策活動を実施しているが、その中でも児童虐待防止を訴える啓発活動「ハッピーオレンジ運動」は、携わりやすいテーマであるとの評価が多く活動の柱として定着しており、本年も引き続き取り組みを続ける。

4. 東日本大震災からの復興支援活動の継続

東日本大震災から7年が経過し、インフラなど目に見える物質的な復興は進んでいるが、未だ故郷に戻れない避難者がいる現状に鑑み、引き続き募金活動、視察研修活動など被災地に寄り添う支援活動を継続するとともに、女性の視点に立った防災・減災対策等に取り組む。

平成30年青年局活動方針

昨年の第48回衆議院議員選挙において、わが党は全組織が一体となり活動した結果、全選挙区での勝利となった。

これからも強靱な党組織を維持・拡大していくことがわれわれの使命であるため、広報活動や研修などを通して政策・理念の発信や若年層を含め無党派層への働きかけを一層強化し、明年の統一地方選挙、知事選挙、参議院議員選挙に向かって活動していく。

また、憲法改正へ向けた議論が活発になっていることを踏まえ、憲法改正に関する県民の理解促進に努める。

1、統一地方選挙、知事選挙、参議院議員選挙必勝に向けた活動

明年には統一地方選挙、知事選挙、参議院議員選挙と大型選挙が続く。

全青年党员が、全ての選挙に勝利しなければ、党の未来はないとの危機感を胸に抱き、地道な活動を通じて市町村支部・職域支部と共に連携強化を図り、青年組織の鍛錬と若年層や無党派層への支持拡大に向けて地域に根差した活動を展開していく。

2、青年組織の強化

活発的な党活動を推進するために磐石な青年組織を築くことが不可欠である。

地域の実情を踏まえながら、青年部長・青年局長未設置支部の解消に努めるとともに、青年党员が自発的に活動へ参加できる体制づくりに取り組む。

3、研修活動の強化

青年党员一人ひとりの政治意識向上を図るため、地域ごとに参加可能な研修の場を設けるとともに、他青年団体とも積極的に交流し新規友好団体の開拓に繋げる。

現在、将来を担う18歳以上の若い世代において自民党支持率が高いため、その声を広く政治に反映させるため、対話集会など党员以外の方が参加できるイベントを企画し、政治・選挙への参加を促す取り組みを進める。

4、街頭活動の強化

政治活動の基本は、自らの理念や政策を直接国民・県民の皆さまに訴え、多くの理解者と共に実現していくことである。

われわれは街頭行動を活動の基本とし、党本部「全国一斉街頭行動」や政策パンフレット「国に届け」を活用した広報活動、各級選挙での効果的な街頭活動を積極的に実施する。

5、青年部の設置

選挙結果に大きな影響を与える無党派層への支持拡大のためには、自民党への支持率の高い若年層への働きかけが不可欠である。

党内での世代交代を一層促進し、新しい人材の育成と党の長期的な発展のため、18歳から35歳までの党员で構成される青年部の設置を目指す。